

第7回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録（案）

日 時 : 平成25年 6月 12日 (水) 13時00分～14時10分

場 所 : 電気学会 第4, 第5会議室

出席者 : 大西委員長, 栗原副委員長, 新藤委員 (A 部門長), 徳田委員 (A 部門代表), 大山委員 (B 部門長),
松井委員 (C 部門代表), 野田委員 (E 部門代表), 桂幹事 (敬称略), 以上8名

配付資料

- 資料7-0 第7回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料7-1 第6回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録（案）
- 資料7-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 名簿
- 資料7-3 「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会（仮）」設置趣意書

議事概要

1 前回議事録の確認

資料7-1に基づき, 平成25年3月27日に開催された前回委員会の議事録(案)について確認され, 承認された。

2 特別調査専門委員会の設置について

資料7-3に基づき, 大山委員より委員会構成員候補者で4月8日, 5月10日に打ち合わせを頂いた内容について説明があり, 「安全・安心社会の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会（仮）」の設置趣意書(案)について確認を行った。

・(野田委員)

特別調査専門委員会の認可はどのレベルで承認されるのか。

・(大西委員長)

本委員会の設置が役員会で認められているので, 本技術委員会で設置の承認が可能である。

・(野田委員)

予算措置についてはどうか。

・(大西委員長)

こちらも可能である。

・(栗原副委員長)

IT 関連のセキュリティに関してはC 部門主導で設置が可能か。

・(松井委員)

C 部門長を中心にそのように検討している。

・(栗原副委員長)

調査する項目案について「・」で掲げられている項目はどのように取り扱うのか。

- (大山委員)
委員会構成メンバーによるところも大きいので、委員の追加を検討していく。委員の公募については必要か。
- (大西委員長)
議論を集中して行うために委員の公募は特に必要ないとする。
- (新藤委員)
必ずしも解決できる問題ばかりではないので、問題提起を含めて調査結果を纏めて頂きたい。
「公平性」と「安全・安心」のつながりについてはどう考えれば良いか。
- (大山委員)
検討事項については、キーワードが横並びに記載されているものである。
- (栗原副委員長)
「パワートリアージ」は何を意味しているのか。
- (大山委員)
電力について優先的に復旧させるという考え方であるが、まだ一般化されていない言葉でもあることから、設置趣意書には含まないように修正する。
- (栗原副委員長)
委員に電力関連の事業者を含まなくて良いか。
- (大山委員)
このメンバーでないとここまで深く議論ができない。技術継承に関しては、メーカーについても参画頂くことを検討している。
- (大西委員長)
設置趣意書の内容について整理・修正を頂き、正式に設置を進める方向で進めたい。メール審議も可能である。

3 特別調査専門委員会の設置検討について

上記B部門主導の委員会以外に特別調査専門委員会が設置可能かどうか状況の報告があった。

3-1 A部門（新藤委員）

役員会で本特別技術委員会での議論内容を紹介しているが、なかなか出てきていないのが現状である。B部門主導の委員会の議論結果から特定の項目に対して検討依頼があれば、A部門内の委員会の紹介も可能である。

- (栗原副委員長)
雷ノイズとITについては検討可能か。
- (新藤委員)
EMC の概念の中で取り扱っているが、今後システム制御のためのセキュリティのための一つの項目として検討が可能である。

- ・(大山委員)
一般の人が技術者に任して疑問を挟まない分野と信頼されていない分野があるので、区別して考えると良い。
- 3-2 C部門(松井委員)
ITなど一般の人が直接関連する分野について引き続き検討を進めたい。
- 3-3 D部門
大西委員長から清水委員に確認をする。
- 3-4 E部門(野田委員)
役員会で引き続き検討をしていく。センサネットワークについてはC部門とのコラボレーションも可能と考えている。
- ・(大西委員長)
資料7-3については、B部門からの設置趣意書(案)として各部門でご紹介頂きたいとの依頼があった。

次回開催：第8回 委員会：平成25年 9月18日(水) 13:30~15:30を予定
電気学会 第4, 第5会議室